

# 100年後も地球と生きる未来へ

A 100-Year Strategy for Coexisting with Earth

paramita

気候変動時代

人口減少社会

# 100年後も地球と生きる

paramitaは、人口減少社会と気候変動の時代を生き延びるために、「自然が再生し続ける世界」と「地域経済が持続する未来」を両立させます。

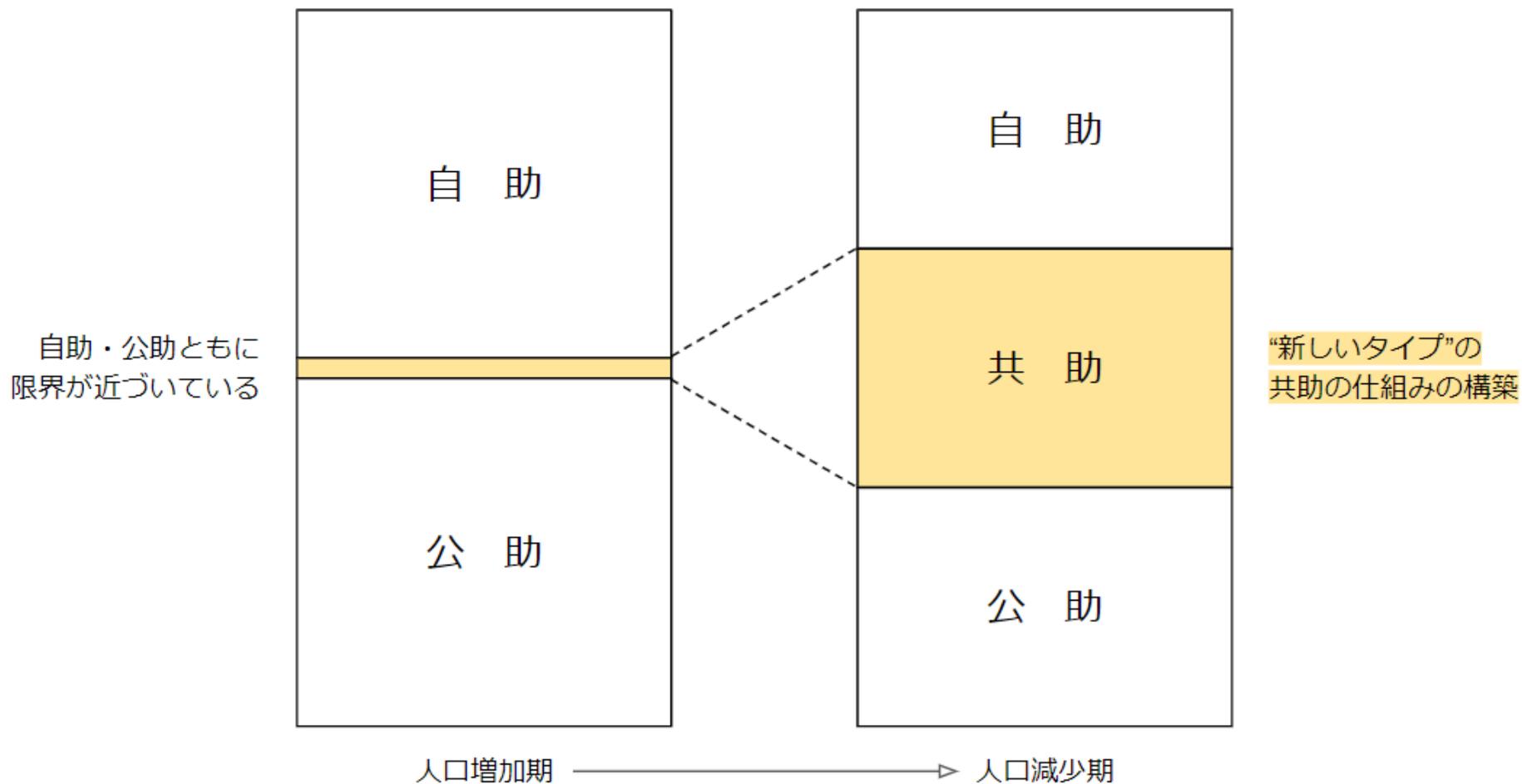
個人、企業、自治体、研究者、アーティストなど多様な主体が交わり、生命（いのち）を中心に据えた関係性をデザインすることが私たちの役割です。

無目的な利便性の向上や単なる経済合理性の追求ではなく、身近な暮らしの課題から地球規模の問題までを結びつけ、何かを犠牲にすることなく連鎖的に解決していく共創のプラットフォームとなります。

第二の自治体

**Local coop**  
Generate Your World

# 共助の仕組みの必要性



## 〈現状〉

従来の地域社会では  
自治体が公共サービスやインフラの  
多くを担っている

自治体

自治体 = 従来の共同体OS

分散型の自治構造へシフトし  
自治体をスリム化する

## 〈目指す世界〉

いくつかの共同体がより自律的に  
公共サービスをマネジメントすることで  
分散型の社会へとシフトする

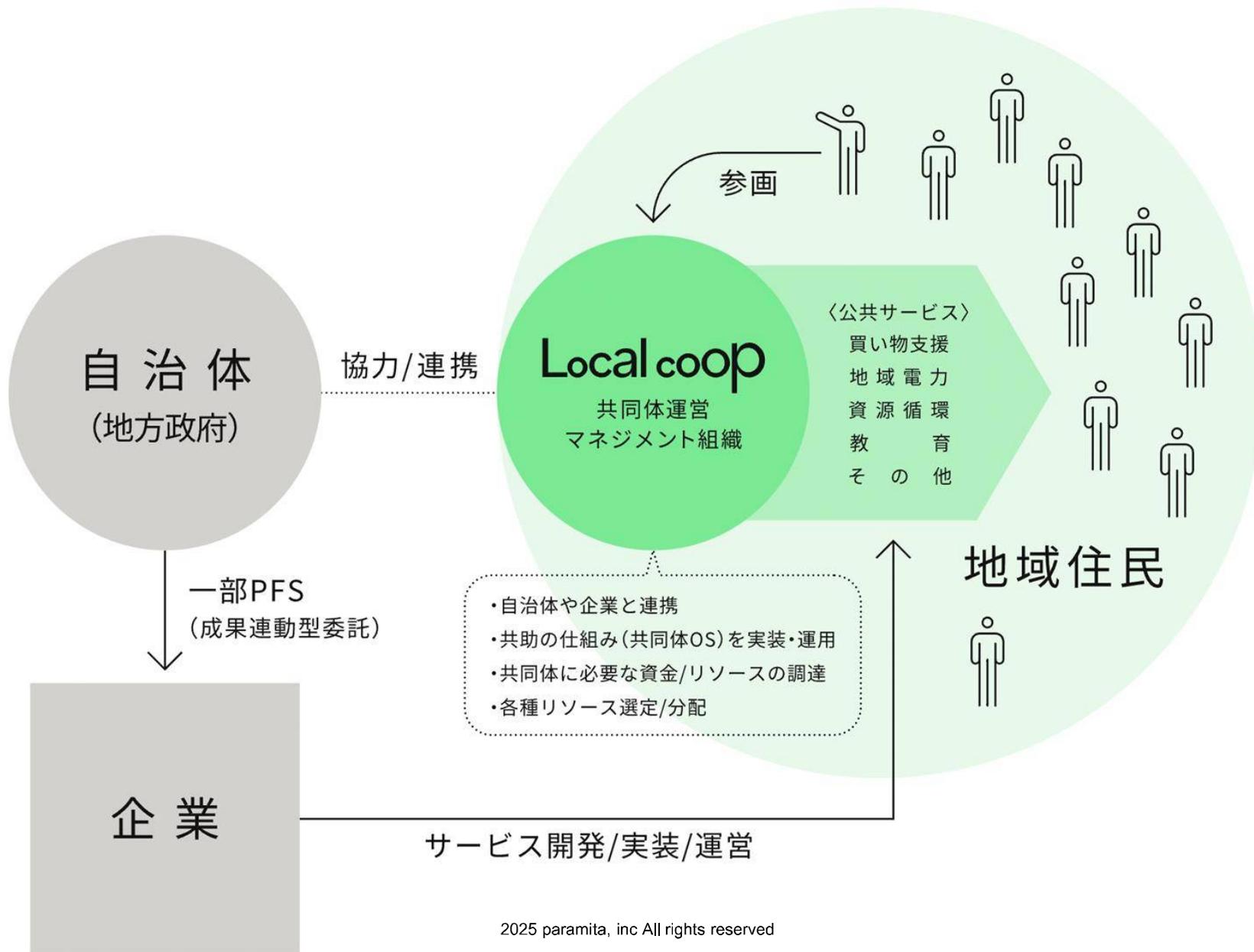
自治体

Local coop  
(共同体)

Local coop  
(共同体)

Local coop  
(共同体)

自治体 + Local Coop = 新たな共同体OS  
(メイン) (サブ)



流域を自治する

## 三重県尾鷲市の取り組み

市の面積のうち森林の割合は92%、17,000haを誇る山と海に囲まれたエリア。林業が盛んだった地域で、CO2吸収量の増加と生物多様性の回復に資する森林整備を開始。



# 尾鷲市九鬼町の基本情報

## 【基本情報】

- 人口：357人
- 世帯数：233世帯
- 面積：約13.55 km<sup>2</sup>
- 人口密度：約25人/km<sup>2</sup>



## 【人口の推移】

- 1983年（昭和58年）：人口1,249人、457世帯
- 2020年（令和2年）国勢調査：人口358人、216世帯

## 【その他】

- みんなの森（宮ノ谷川）の下流集落
- 主産業：定置網漁（昔は林業も）
- 観光名所：オハイ





## ▶ Regenerative NFT ◀

あなただけの蝶を手に入れよう。

あなただけの蝶を手に入れよう。 SINRAに飛び交う多様な蝶のデジタルアートを、mintする\*ことができます。どんな蝶が手に入るか、mintするまでわかりません。あなたのNFTコレクションに美しい蝶が加わり、それが自然の保全・再生につながり、地球を再生可能な状態に導きます。

\*mintする=取得するの意

## ▶ プロジェクトの仕組み ◀



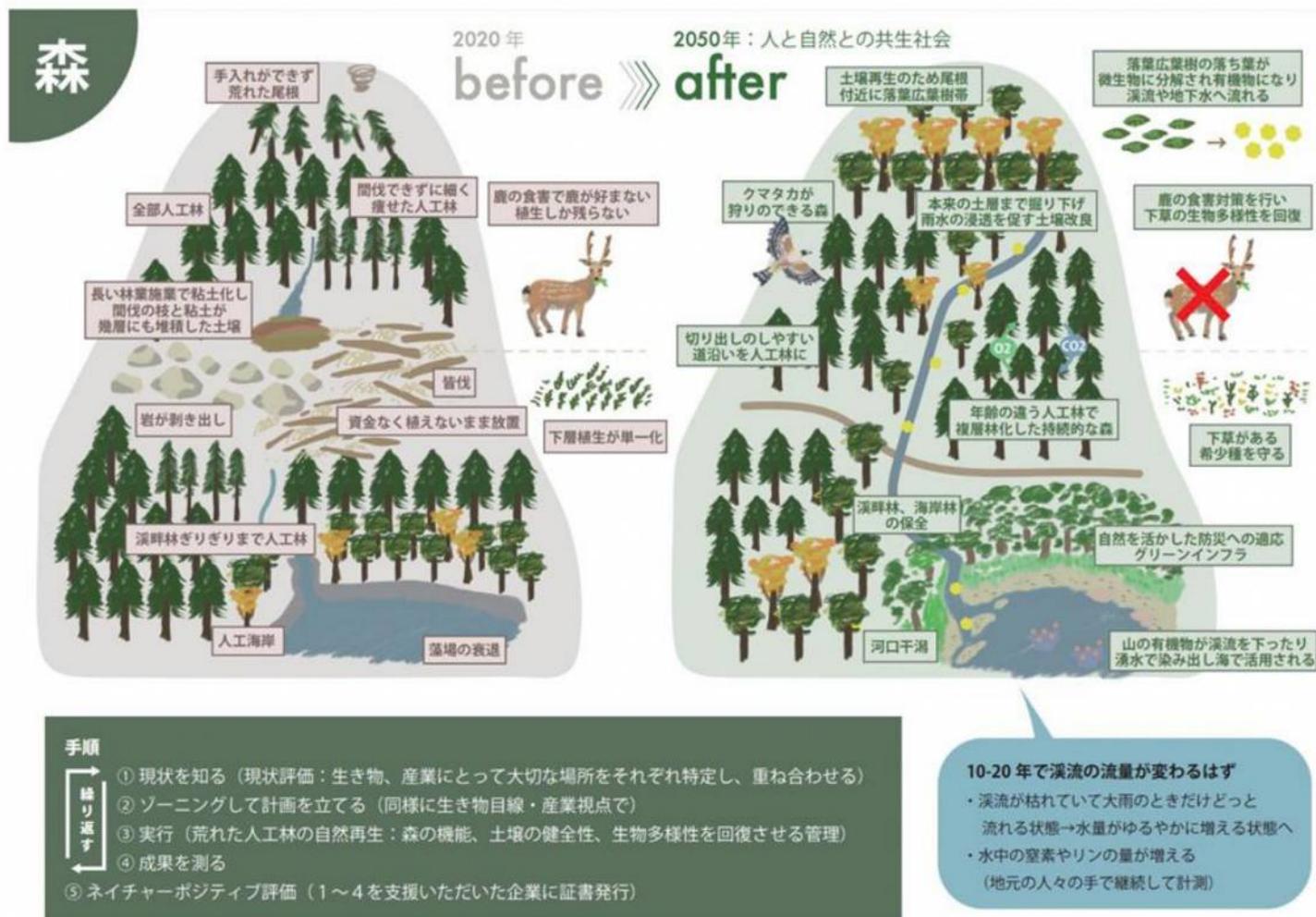
Jクレジットなどの環境価値創出時には“Regenerative NFT”に  
カーボンの保有権が付与される

SINRAを通じてRegenerative NFTを購入すると、その売上が森林や海などの自然の維持・再生につながり、ブロックチェーン上に記録されます。その後、環境価値（カーボンの保有権等）が実際生み出された場合、Regenerative NFTを通じて、その環境価値を保有いただくことができます。

## 森の生態系回復に向けた「みんなの森」ワークショップ( 2023/12~2024/06)



(取組紹介) A/B 自然資源等の地域アセットの価値を見える化・定量化し、そこに域外の個人や企業の関与を促進



# 一次産業と生物多様性の両立を目指す



昨年の尾鷲ネイチャーポジティブアクション会議



JANUS

dip

三菱重工



Panasonic



バイトル

LINEヤフー



まごころこめておつきあい

サカイ引越センター



尾鷲市“市有林”から生まれる環境価値(Jクレジット)の申請済量

年間約6,500tCO<sub>2</sub>

尾鷲市“民有林”から生まれる環境価値(Jクレジット)の推定値

年間約22,000tCO<sub>2</sub>

## 協業事例：LINEヤフー



# サカイの エシカル引越

森林整備や生態系の再生に貢献！



詳細は  
コチラ！



## 「エシカル引越」でできること



輸送により排出されたCO2を

森林保全活動を通じて吸収

私たちの生活に伴う二酸化炭素の排出は、地球環境に大きな影響を与えています。サカイ引越センターでは、引越で排出される二酸化炭素をオフセットできる、エシカル引越しプラン（1,000円（税込））への加入をおすすめしております。

## お客様の1,000円から生まれる効果

引越により排出する  
CO2を吸収する分に相当する  
**森林保全・再会活動の促進**

森林整備を通じた  
**流域全体の生態系の回復**

大雨による土砂の流出を防ぎ、  
**土砂災害などの  
リスクを軽減**

地域の森など自然から子供たちが学ぶ  
**新しい教育システムの  
立ち上げ**

お申込は **0120-00-1141** までお電話ください

# 社会課題解決型の商品開発

小田急電鉄、JALショッピング、サカイ引越センター、JR東海と共に経済性・社会性の両面を考慮した商品開発を推進



## 小田急電鉄

- CO2フリーな旅行を提案
- 主として40代～50代女性を中心に申し込みをいただいている（女子旅ニーズ）
- 小田急トラベルというオンラインのみのチャンネル。お客様が通常購入する導線に本商品の紹介がないため、購入数は開始半年で100件弱



## サカイ引越センター

- CO2フリーな引越を対面チャネルを中心に提案
- 取り組み9か月で27,000件以上のお申し込み（2025年9月30日現在）
- 事業としての経済的なメリットに加えて、1000トンCO2吸収量に相当する森林整備への資金流入を実現し、決算発表会でも投資家向けに説明



## JALショッピング

- カレーという消費が地域の森づくりにつながるアクションを選択肢として提案
- 30代～50代男性等の富裕層を中心に申込を広げている
- JALショッピングというオンラインのみのチャンネルの中で、前申込の2～3%の申込



## JR東海

- 新幹線に乗ることで、そのお金の一部が地方創生につながるパッケージを共同開発
- 2025年5月末より販売開始を予定

## 企業版ふるさと納税を通じた寄付金額

LINEヤフー：令和3年度 2,560万円、令和4年度 3,124.6万円

三ッ輪ホールディングス：令和5年度 2,500万円

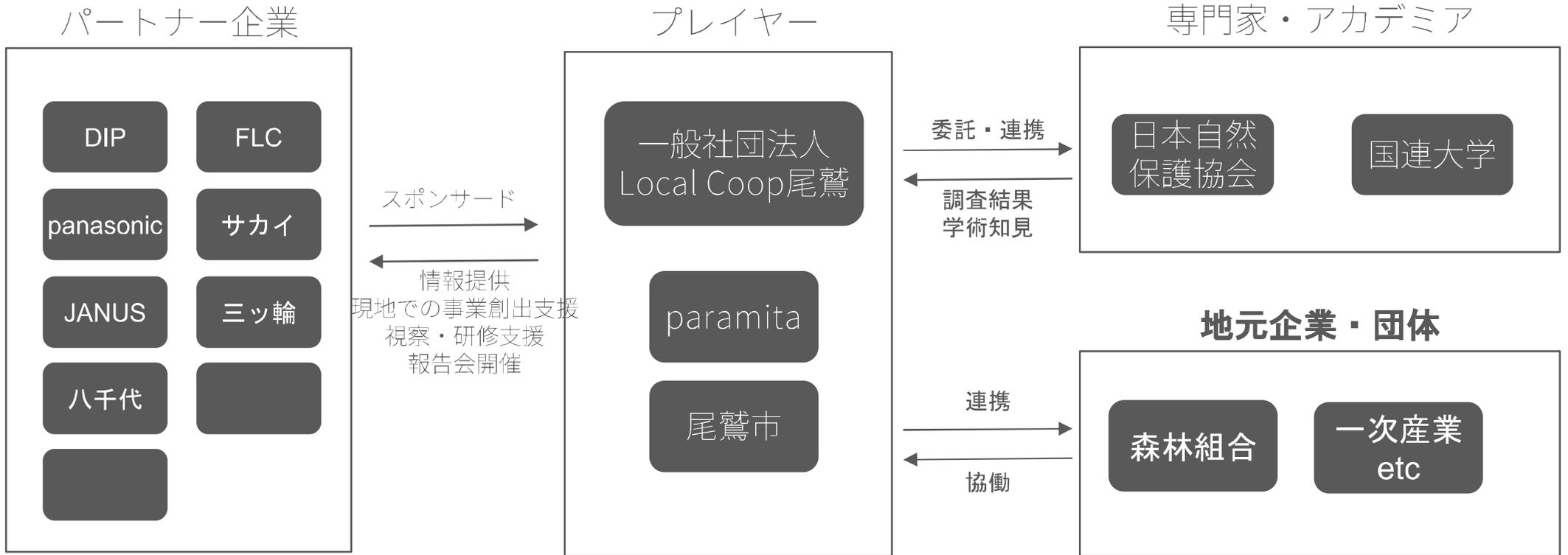
尾鷲ネイチャーポジティブアクション会議の寄付金 令和6年度 3,200万円

約1億 1,400 万円

尾鷲市のJクレジットを購入してくれた個人の数

202人(290tCO<sub>2</sub>)

# 各地に設立するコンソーシアム体制イメージ（例：尾鷲ネイチャーポジティブ・コンソーシアム）

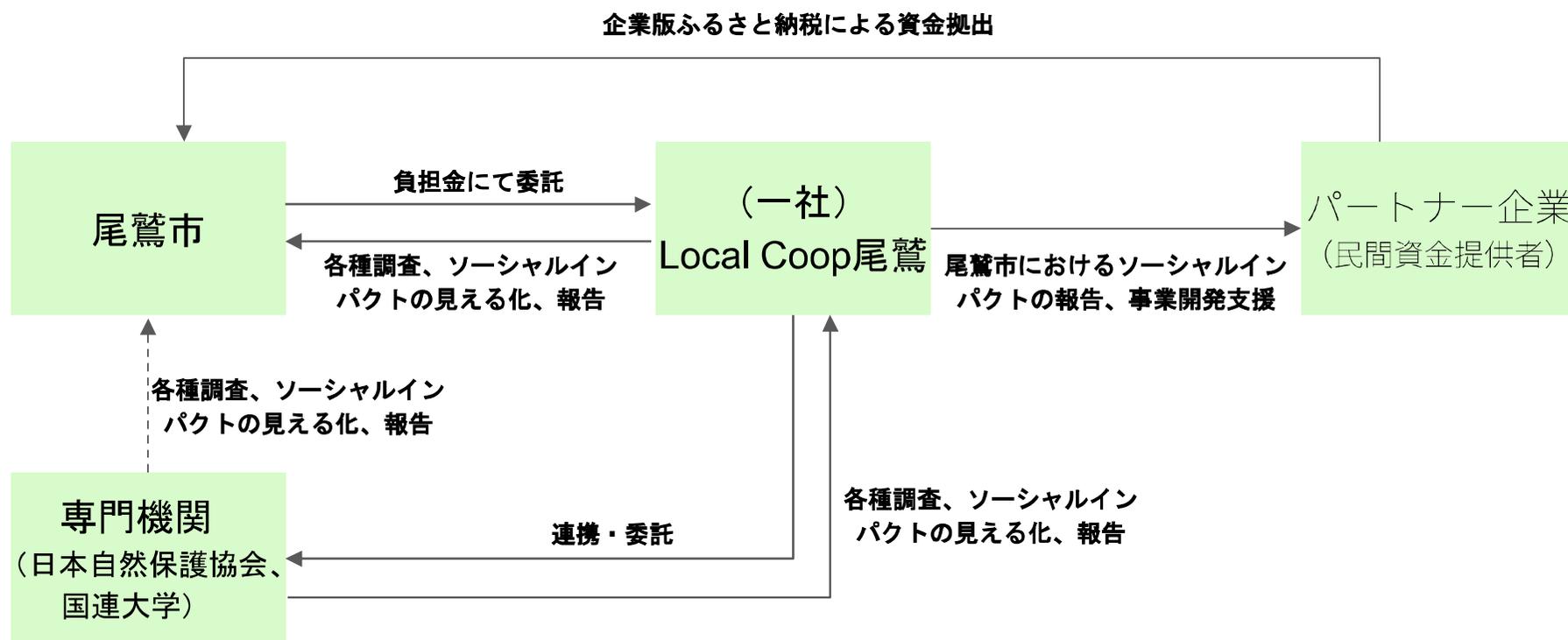


上記ステークホルダーが各種情報を共有し、支えあう枠組みを構築

## 企業版ふるさと納税によりソーシャルインパクトの創出

(事例) 尾鷲市ネイチャーポジティブコンソーシアム

企業が社会的インパクトの実現を目指して資金を拠出する点についてはSIB（ソーシャルインパクトボンド）と変わりませんが、ボンドよりも企業版ふるさと納税の方がパートナー企業にとって資金拠出が容易であり、以下のスキームで実現可能。



## 複数企業の共創によるエコシステムで流域を再生・保全していく設計

森林整備を通じた流域全体の生態系・文化多様性の回復・保全を目指すエコシステムを共同で構築していくことができないか

### ① 活動をドライブする“まとまったリソース”の確保

⇒資金・人材・ノウハウ・アセットなどリソースを企業横断でプールできる体制

### ② 参加企業が活発に循環するエコシステム

⇒プールされたリソースが高い透明性で管理されている

⇒各社にとって参画メリットが明快

- ・財務／非財務インパクト
- ・地域での事業開発・実装機会 など

### ③ 地域・流域を軸にしたリジェネラティブな活動へのディレクション

⇒プール資源を適切に運用するマネジメント機関が存在

⇒専門家と連携しつつ、企業の論理・住民や自治体の想い・流域再生の視点を統合してディレクションする

## 重要地域の把握

### 概要

- 既存の自然環境情報を整理
  - ・博物館の標本情報、ナチュラリスト団体の調査報告書、国のデータ等
- 県内の専門家をリストアップ(45人)し、特に尾鷲に詳しい専門家を絞り込みヒアリング
- 市内の重要地域(質)とその位置(面積)を、以下の視点から特定する。
  - ・希少性/危急性、典型性、相補性、連結性



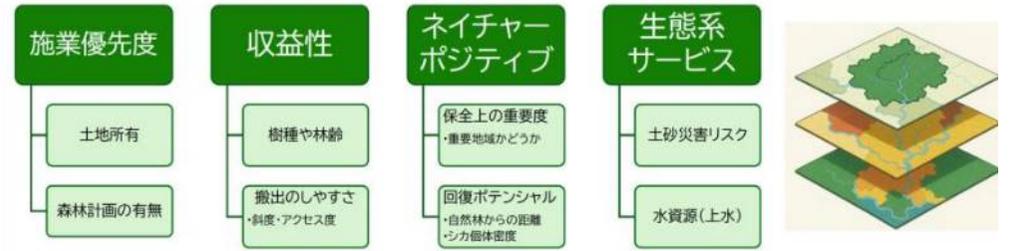
### ヒアリング協力者

お名前	専門分野	所属
山本和彦	植物	三重自然誌の会
清水善吉	哺乳類・両生爬虫類	三重自然誌の会
中西元男	昆虫(バツ・チョウ目)	三重昆虫談話の会・三重自然誌の会
湯浅 久美子	自然ガイド	熊野古道伊勢路語り部友の会
橋本博	植物(樹木医)、鳥類	三重県立熊野古道センター

尾鷲NPC分科会資料

## ゾーニング地図のイメージ

●「収益性」や「ネイチャーポジティブ」などの複数の評価軸のレイヤーを重ねて、市全域の地図を作成



## 陸域の重要地域の評価結果

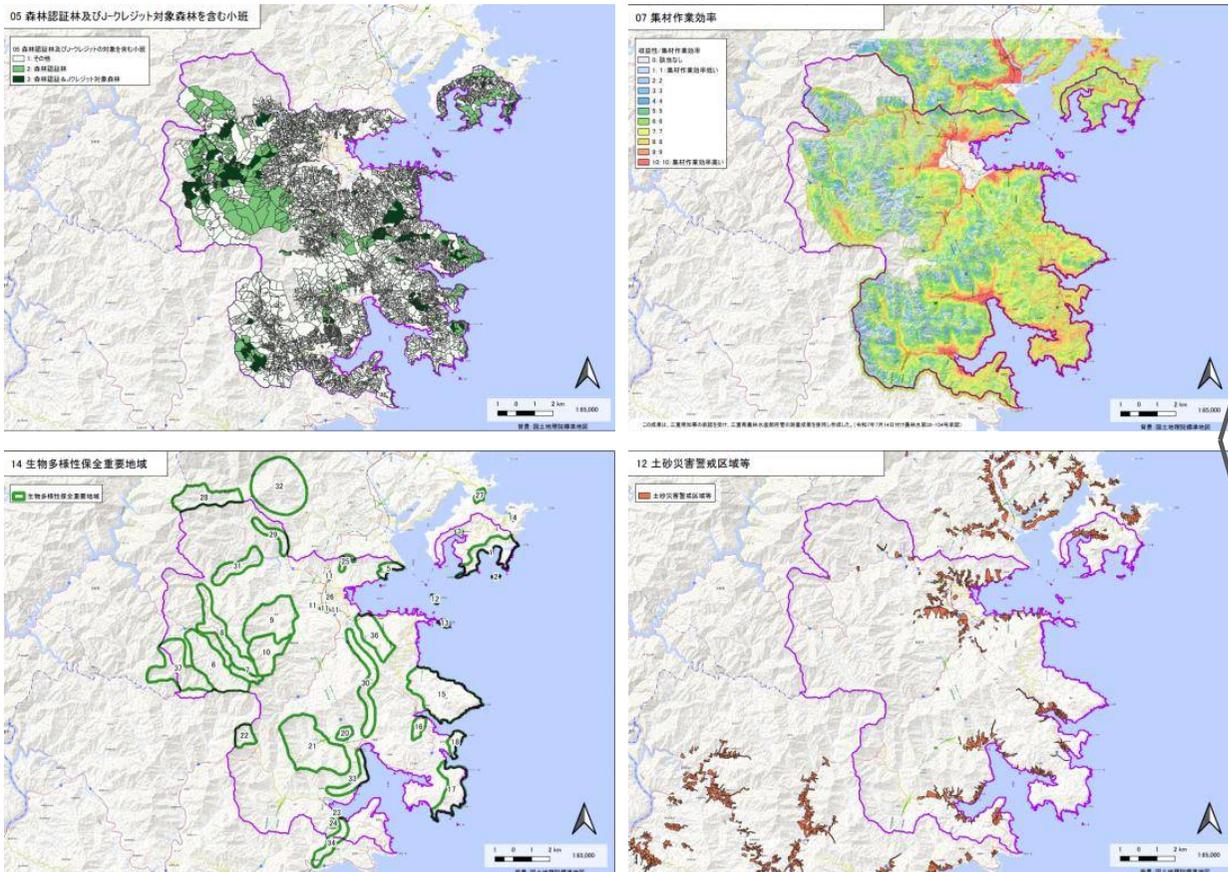


- 市内で約40箇所の重要地域を特定できた。
  - ・神社・海岸沿いの原生的な照葉樹林や、高標高域の自然林。
  - ・向井地区の里山や市街地に残存する水田、熊野古道。
  - ・ジュロウカンアオイ(植物)の世界で唯一の生息地。違法盗掘が懸念。
  - ・須賀利大池・小池など、県レベルで重要な場所も散在。
- シダ植物の多様性が特に高い(シダマニアの聖地らしい)
- 奥地は鳥の楽園(全国的に見ても夏鳥の多様性が高い)
- 市街地内に県レベルで重要な水田が点在
  - ・江戸時代からの形を留めており、多数の絶滅危惧種が生息
  - ・環境教育・文化継承・安全保障からみても重要度が高い
- 人工林が連続するエリアは、重要地域が少ない
- 生物多様性の最大の脅威は「シカによる植生の食害」
  - ・農林業や地下水涵養量にも影響を与えている。
  - ・シカの侵入していない1坪の神社や市街地の公園も重要地域。

## 具体的なアウトプットイメージ



# 尾鷲市全域でのゾーニングマップの作成



## 自治体

### ・ 森林の大戦略

- 地域の森林資源を所有者に全て依存するのではなく、地域としての考え方
- 施業の優先度を住民や林業従事者などとコミュニケーションをとる土台

### ・ 地域資本の見える化

- 地域内外の企業や個人が地域に関与しやすくする

## 企業

### ・ 企業内や投資家との地域に関与する際のコミュニケーションツール

- Jクレジット購入が地域の生態系や水源涵養といった複数のメリット
- 自社事業が地域に与える影響や対応策を練る際のベースとなるデータ（TNFD活用）

# 徴税と再分配のデザイン



環境価値・カーボンクレジット



関係人口・企業

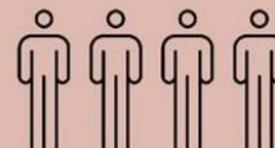


公共サービス  
自主運営による収益化

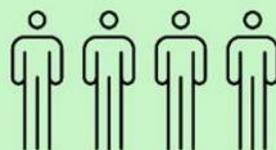
資金と資源  
のプール

QF

(Quadratic Funding)



- ・インフラ
- ・自然資本（里山・里海）
- ・独自の助成金
- ・教育
- ・OSS



Local coop

# 実証エリア



**Tsukigase**  
Population: 1,200



**Tatsugo, Amami**  
Population: 6,000



**Misakubo**  
Population: 1,600



**Owase**  
Population: 15,000



**人口減少、気候変動時代を生き抜くために、  
地球規模の課題と地域課題の同時解決を目指す**